



長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

長崎県教育庁働きがい推進室
電話/095-894-3331 メール/s40190@pref.nagasaki.lg.jp

公式 YouTube



公式YouTube
チャンネルを
開設しました！
ぜひチェックを
お願いします！

公式 Instagram



「学校のネタ帳」を
テーマに長崎の
学校的话题を
発信しています



県立時和特別支援学校 西彼杵分校 開校

西彼杵分校は、主に「知的障害」の子どもを対象としており、開校により、小学部から高等部まで一貫した特別支援教育を受けることができるようになります。



2025年4月10日(木)
午前9時30分～午前10時15分
開校式
(西海市立大瀬戸中学校 体育館)

現在

鶴南特別支援学校
高等部西彼杵分教室(西彼杵高内)

2025
年度から

時和特別支援学校
西彼杵分校

小・中学部(大瀬戸中内)、高等部(西彼杵高内)

大瀬戸中の校内に鶴南特別支援学校西彼杵分教室「小・中学部」を設置。鶴南特別支援学校「高等部西彼杵分教室」と併せて分校化し、時和特別支援学校に移管します。

西彼杵分校の教育スタート×西海地区のインクルーシブ社会のさらなる構築

小学部から
高等部まで一貫した
キャリア教育の充実

高等部では、企業などと連携して現場実習などの就業体験の機会を拡大するほか、校内実習の改善、企業関係者が講師を務める授業の実施など、キャリア教育・職業教育の充実を図ります。また、小・中学部と連携した系統的なキャリア教育も推進します。

小学部

中学部

高等部

支援(センター的機能)
※分校のノウハウ

高校

発達障害などのある生徒への
キャリア教育の改善・充実



西海市内の企業での職場実習の様子



西海市内の高齢者施設での
デュアルシステム型現場実習の様子

企業/福祉的就労/関係機関

障害者の雇用を支える連携体制の構築・強化

西海地区における障害者の自立と
社会参加の推進

地域の中で支援が必要な生徒が活躍できる機会の創出

開校に向けた地元自治体の理解や協力

登校支援

保護者の負担軽減

西海市の地域生活支援事業(移動支援事業)を活用し、小・中学部の児童生徒の登校手段を確保し、保護者の負担軽減を図ります。

小・中学部の施設整備

バリアフリー対応に

小・中学部の校舎は、大瀬戸中の1階部分をバリアフリー対応工事で改修。2025年3月に竣工予定。体育館とグラウンドは大瀬戸中と共用します。



「教員採用試験」締め切り間近!

子どもたちがあなたを待っています!

締め切り3月21日

午後5時まで

試験に関する問い合わせ先

長崎県教育庁義務教育課 (095-894-3376)
高校教育課 (095-894-3358)

詳細はこちら



臨時的任用教職員も募集中!

まずは

「学校スタッフマッチングシステム」
に登録しませんか

スマートフォンなどから登録すると、希望する採用情報などを登録者にお知らせするほか、毎年必要だった採用志願書の提出が不要になります。

詳細はこちら



長崎県遠隔教育センターの愛称決定!

愛称
デクト
DECTT

ICTで広がる新たな学び

デクトは「Digital Education Center for Tele-Teaching」の頭文字をとっており、長崎の方言で「できる」の意味が込められています。長崎県の遠隔教育を進める拠点として生徒の可能性を広げていきます。

平山先生ってどんな先生?

毎年開催される「対馬縦断駅伝」に地元チームのメンバーとして参加。子どもと遊ぶこともトレーニングしながら、教師と駅伝への挑戦を両立しています。

先生のリフレッシュ方法

疲れたときや頭を整理したいときは、とりあえず走ってリフレッシュ。その後、甘いものを食べて自分へのご褒美に。



今回紹介するのは
対馬市立佐須奈小中学校

平山裕章先生

本気で挑戦する姿を伝えたい

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く
先生たちにスポットを当てます

教員を目指したきっかけは?

もともと教員に憧れはありましたが、中学生のときに先生から「教員に向いているよ」と言われ、背中を押されました。教育実習などを通じ、子どもと一緒に1日中過ごし、間近で成長を見守ることができる小学校の教員に魅力を感じました。ふるさとの対馬に対する思いが強まったのは教員になってからです。

この仕事について良かったと思うとき

子どもたちが成長したときと、一緒に運動するときです。子どもたちは急にぐんと伸びる瞬間があります。それまでの努力の過程を見ている分、うれしさが込み上げます。毎日違う表情を見せてくれる子どもたちと一緒に、自分自身も成長できる、この仕事が楽しくて仕方ありません。

駅伝の挑戦と仕事を両立するコツは?

見通しを持ってできる仕事から終わらせ、練習時間を確保しています。小さな目標を立て、達成することも大切にしています。私が走る姿を子どもたちは見えています。挑戦することの大切さを言葉だけでなく、行動で子どもたちに伝えることは、学級経営にもつながっていると思います。